

# 「共謀罪」法成立に 学者の会抗議声明

## 「民主主義を破壊」

さまざまな分野の研究者  
約一万四千三百人が賛同者



となっている「安全保障関連法に反対する学者の会」(呼び掛け人・内田樹<sup>うちだ</sup>神戸女学院大名誉教授ら)が十八日、東京都千代田区で記者会見を開き、犯罪の合意を処罰する「共謀罪」の趣旨を含む改正組織犯罪処罰法の成立に抗議する声明を発表した。

声明は、参院法務委員会での採決を省いた「共謀罪」法の成立について「内容的にも、手続的にも民主主義を破壊する暴挙である」と非難。政府が「テロ等準備

「共謀罪」法に反対し、記者会見する神戸女学院大の内田樹名誉教授(右から三人目)ら。18日、東京都千代田区で

罪」とした呼称も「テロ対策の条文は含まれず、日本はテロ対策主要国際条約をすべて批准し、国内法化を終わっている」と指摘した。また、公職選挙法違反など公権力を取り締まる犯罪や、組織的な経済犯罪が対

象外であることにも疑問を呈した。「今後、市民の自由を侵害する恐れのある法が悪用されないよう厳しく監視すること、この法を廃止することを広く社会に対して呼び掛ける」と訴えた。